



## 『明るく、豊かな“生活”が大事』

NHKの連続テレビ小説は「とと姉ちゃん」があります。4月から9月迄の放送予定です。小橋常子の幼少時代から戦争を経て、雑誌“あなたの暮らし”の発刊に至り、晩年までの生涯が紹介されています。私も久々の朝ドラにのめりこんでしました。様々な場面で、忘れていた精神『人生訓』みたいな言葉に出会います。この7月・8月は、花森伊佐次と小橋常子が雑誌“あなたの暮らし”を発刊する『あなたの暮らし出版社』を設立します。無駄のない、暮らしに密着した内容を記載していくのですが、常子の思いの基本にあるのが、最初に入社した出版社『甲東出版』の時、笑顔のある、笑いのある記事でした。戦争のさなか笑顔さえも“非国民”扱いされた頃です。戦争後自由に表現していくときに常子は嬉しくなるような笑顔のある記事を目指したのです。雑誌“あなたの暮らし”初発行版に次のような言葉を花森伊佐次から提示され載せました。

### 「あなたの暮らし」

これはあなたの手帖です いろいろなことがここに書きつけてあります。  
この中のいくつかは、すぐにあなたの暮らしに役立ち、  
この中のいくつかは、すぐには役に立たないように見えて、  
やがていつの日か、あなたの暮らし方を変えてしまうかもしれない。  
そんなふうにいつでもこの一冊は、  
あなたの暮らしに寄り添って息づいています。



と…。戦時中、暮らし方を変えることなどできないと思い込まれていた時代。常子と伊佐次は、暮らしを歓びに変えることの大切さを広めたのです。また、私が好きな言葉のもう一つ“暮らしに寄り添って息づいています”。私もふる里設立当初から一貫して“笑顔満載のふる里”、“寄り添っているふる里”信念でふる里を盛り上げています。

ここまで、「とと姉ちゃん」の番組の役柄でお話ししましたが、この「とと姉ちゃん」は、実際の人物の生涯をドラマ化したものです。小橋常子は大橋鎮(しづ)子さん。花森伊佐次は花森安治さんの事です。この花森安治さん、なかなか破天荒な方と聞いていますが、この方は、生前こんな言葉を遺しておられます。『…もしみんなに、あったかい家庭があったら、戦争にならなかったと思う。』と。正にその通り“あったかい家庭”これが大事なんです。あの時代あったかい家庭だったら運命は戦争へと至ることはなかったでしょうね。生活の大切さ、笑顔の大切さがその時代に叫んだ方がいたのですね。

生きているといろんなことがあるんですね。様々な“ところ”から“人”から“おかげ”を頂いています。

From センター長 森 隆敏

# 七月 恒例行事

## そうめん流し

今年の7月行事は、もちろん毎年恒例の『そうめん流し』を12日(火)～14日(木)の3日間実施しました。利用者の皆さんも楽しみにされている行事の一つで、レクリエーションや行事の食事と今回も大いに盛り上がり笑い声が響き渡りました。

初日・2日目のレクリエーションは、職員人面魚も現れる「魚釣り！」というゲームを行いました。点数付きの魚や職員人面魚を釣り上げ、その合計得点を競うゲームです。

大物を釣ろうとする方、地道に数で勝負しようとする方など、様々な戦術で高得点を目指して取り組まれました。大物が釣れた時は周りの方から大歓声が起こるほどでした。

上手くいかないわねえ～？！

3日目のレクリエーションは、「たたいて何点?!スイカ割り！」というゲームを行いました。3個のスイカの中から一番高い点数が入っていそうなスイカを選んでからの目隠しをしてのスイカ割り。チームでその合計得点を競いあうゲームです。

最初にどのスイカを選ぶのか?、その選んだスイカに高得点が入っているのか?、ハラハラドキドキでスイカが割れた瞬間の得点に、「やった！」と喜ぶ声や「あちゃ～！」と悔しがる声に周りの人たちもその反応に笑顔で楽しまれています。

盛り上がったレクリエーションの後は、ちょうどお腹のすいたところで、お待ちかねの昼食時間となります。中庭では、焼き鳥とチャーハンづくり。いい匂いが漂ってきます。

チャーハンは、1日目が「エビ」、2日目が「高菜」、3日目が「レタス」を具材とし、的屋風のコスプレにて蒸し暑い中、皆さんにアツアツを食べて頂こうと男性職員が汗だくになりながら頑張りました。

さあ！いよいよメインの「そうめん流し」です。中庭の周りをグルっと囲った全長28メートル特製の流し檻にそうめんが流れ、皆さん上手にすくわれていました。白そうめんだけでなく、いろんな色をしたカラフルなそうめんは、大変好評で皆さん、お腹いっぱいになるまで食べられました。梅雨らしい雨と暑い日差しの中、納涼雰囲気を楽しめ、三日間のすべて楽しい時を過ごされました。



とても美味しい行事メニューとともに私たち担当職員のコスプレ司会も利用者の皆さんに楽しんで頂き、笑顔の絶えない行事となりました。



ふる里のあまちゃん？



## 居宅介護サービスセンター ふる里

### 【居宅介護サービスセンターふる里】とは…

介護全般の相談役となり、介護保険について、介護保険の申請代行、ケアプラン作成、介護サービスの紹介・支援などを行い、ケアマネージャーが皆様の心配事を専門的な立場で、安心した生活を送っていただく方向で解決いたします。業務に関する手数料や、ご利用に係る料金は無料です。24時間サービス体制をとっていますので、介護・福祉のアドバイザーとしてご家族の身近に置いてください。



## 8月の行事予定

### ◆ふる里8月行事 『あついぜ～夏!!』

23日(火)・24日(水)・25日(木)

◆生花教室 ~山崎弘子先生~ 9日(火)・18日(木)

◆書道教室 ~古瀬恭孝先生~ 4日(木)・22日(月)

◆おはなしの部屋~鐘ヶ江・津田先生他~ 29日(月) ※1

※1 ふる里おはなしの部屋の時は、午前中入浴となりますので、皆様のご協力を宜しくお願いします。

◆押し花教室 ~中村寿美子先生~ 30日(火)

◆やわらぎ(針灸マッサージ師)~平島泰士先生~ … 毎週火木金曜日

◆麻雀・将棋・囲碁 … 毎週水曜日午後

3・10・17・31日実施予定



## 今月の作品



## 書道教室



## おし花教室



## 生け花教室

昭和55年に始まった「おおむら夏越まつり」は、今では大村の夏の風物詩として定着しています。きっかけは、「大村をなんとか元気にしたい。」との思いから、大村の若者たちが立ち上がったことでした。8月1日の宵祭では花火大会が行われ、続いて8月2日～3日の2日間にわたって、本祭が行われます。大村駅前広場に据えつけられた提灯やぐらの点灯を合図に、奉納太鼓・郷土芸能・夏越縦踊りなど、たくさんのイベントが用意されています。「おおむら音頭」と「夢まつり」の2曲の踊歌に乗って、さまざまなグループが、思い思いの衣装で踊りながら練り歩きます。歌や踊りなど活気と熱気に溢れる「おおむら夏越まつり」は、人々の喜びと感動を呼び起します。「ふる里」も職員の活気と熱意溢れる活動で皆さんへ喜びと感動を与えていきたいと思っています。編集後記 三岳 健吾

